

2026年3月吉日

中部圏SDGsフェスティバル2025に
「協賛」頂いた皆様へ

中部圏SDGs広域プラットフォーム
運営会員：
東京海上日動火災保険株式会社

「中部圏SDGsフェスティバル2026」への協賛について

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。弊社業務に関しましては、毎々、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、マスコミ等でSDGsが大きく取り上げられ、SDGsの達成に向けて社会全体の取り組みが本格化して参りました。

こうした中、中部圏SDGs広域プラットフォームでは、自治体、諸団体、金融機関、企業等の皆様とパートナーシップを強化し、中部圏における持続可能な社会の構築に向けた取り組みを推し進めておりますが、2026年度も2025年度に続き、中部圏全体におけるSDGsの機運醸成を図るべく「中部圏SDGsフェスティバル2026」（以後、本イベント）を、中部圏SDGs広域プラットフォームが主催し、開催させて頂くこととなりました。

つきましては、本イベントの「概要」と「協賛（＝個別のSDGsイベント開催）」についてご案内をさせていただきますのでご高覧をお願い申し上げますとともに、本イベントへの協賛についてご検討を、是非、宜しくお願い申し上げます。

敬具



記

1. 「中部圏SDGsフェスティバル2026」の概要

- ・名称：中部圏SDGsフェスティバル2026
- ・開催期間：2026年11月1日（日）から2027年1月31日（日）まで
- ・会場：協賛者が開催するイベント会場
- ・主催者：中部圏SDGs広域プラットフォーム（※）
（※）概要については、本案内の最終頁をご参照ください。
- ・共催者：愛知県、岐阜県、三重県、名古屋市（予定）
- ・協賛者：各地域でSDGs関連のイベントを開催する自治体、企業等
- ・後援者：趣旨に賛同頂いた団体、マスコミ等
- ・協力者：趣旨に賛同頂いた各自治体におけるSDGs宣言・登録・認証制度等

*オープニングセレモニー&オープニングイベント：

- ・開催日：2026年11月2日（月）9:15～14:00
- ・会場：東京海上日動火災保険株式会社・名古屋東京海上日動ビルディング

2. 本イベントの協賛に関するご案内

本イベントの開催期間である、2026年11月1日（日）から2027年1月31日（日）までの間に、本イベントに「協賛（＝各地域でSDGsイベント開催）」を頂ける自治体、企業等の皆様を募集しております。

つきましては、本イベントに「協賛」頂ける場合は、以下のURLまたは二次元コードからお申込をお願いいたします。

(1) 提出資料及び期限

- ・「**協賛申込**」…7月31日（金）まで

URL：<https://forms.office.com/r/01YMa2vZxV>



- ・【別紙1】「HP及びチラシ作成シート」及び「掲載用画像（2点以内）」

…8月28日（金）まで

- ・【別紙2】で案内する「動画」データ…9月25日（金）まで

(2) 提出先

- ・【別紙1】と掲載用画像、【別紙2】の動画データは、運営会員である弊社・営業担当者までデータでご提出をお願いいたします。

※協賛イベントにつきましては、本プラットフォームHPや案内チラシにて情報発信を行います。

3. 照会先（事務局）

- ・東京海上日動火災保険株式会社（中部圏SDGs広域プラットフォーム・運営会員）
担当：東海北陸エリアサービス部 向野
電話：052-201-4450、FAX：050-3385-6573
E-mail：kazumi.kouno@tmnf.jp

「中部圏SDGs広域プラットフォーム」の概要

1. 全体概要

(1) 設立の背景

中部圏は社会経済の発展に伴い、環境保護、社会基盤整備及び国際的ネットワークについての有形無形の資産を形成するとともに、現代的な課題解決を行うことにより、様々な知見やノウハウを獲得し積み上げてきました。SDGs 達成に向け、これからの経験を活用する仕掛けとして、持続可能な社会づくりに関連する諸活動に先駆的に取り組んでいる団体が結集し、更なる推進を図るために、当プラットフォームの設立に至りました。

(2) 設立の目的

中部圏※ひいては我が国におけるSDGs 達成に向けた組織及び団体の取組や連携を支援するとともに、世界各国とりわけ開発途上国における課題解決の支援などの国際貢献を行うことを目的としています。

※中部圏：富山県、石川県、福井県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県

(3) 設立年月日

2020年12月1日

(4) 役員紹介

<p>会長 柳谷 啓子</p> 	<p>(国連大学認定RCE) 中部ESD拠点代表 中部大学副学長</p> <p>2007年より中部大学人文学部コミュニケーション学科(現メディア情報社会学科)教授、2017年より人文学部長、合わせて2018年より国際人間学研究所長、2025年より教育・学生、国際・地域連携推進担当副学長、中部大学アクティブアゲインカレッジ長。専門は社会言語学、研究テーマはメディアと表現の関係、とりわけメディア言説におけるメタファー利用によるイメージ操作の分析。地域にあてにされる大学を目指して日夜奮闘中。(国連大学認定RCE) 中部ESD拠点代表。</p>	<p>副会長 村田 重雄</p> 	<p>国際連合地域開発センター(UNCRD)所長</p> <p>2025年3月より現職。1993年に国土交通省(旧建設省)に入省以来、土木研究所道路部道路研究室研究員、マサチューセッツ工科大学ITリサーチセンター客員研究員、国土技術政策総合研究所道路部道路空間高度化研主任研究官、道路局路政課課長補佐、近畿地方整備局奈良国道事務所長、ベトナム交通運輸省(JICA長期専門家)、道路局企画課国際室長、高知県土木部長、JICAインフラ技術業務部技術審議役等を歴任。</p>
<p>副会長 林 良嗣</p> 	<p>ローマクラブ本部 Executive Committee Member・日本支部長 世界交通学会理事・前会長 / 東海学園大学卓越教授 / 名古屋大学名誉教授</p> <p>英国リーズ大学、独ドルトムント大学客員教授、OECD欧州交通大臣会議表彰委員を歴任。運輸政策審議会委員、国土審議会特別委員、中央環境審議会臨時委員を歴任。</p> <p>各国元大統領、著名な学者らからなるローマクラブの会員100名の一人で、本部(スイス)執行役員・日本代表、世界交通学会(70か国から会員約1,000余名)前会長(2013-2019)・COVID-19 Taskforce特別委員長、日本工学会アカデミー中部支部長などを務める。</p>	<p>副会長 戸成 司朗</p> 	<p>一般社団法人中部サステナビリティ&ウェルビーイング推進センター代表理事</p> <p>セゾングループ(西友)の執行役 副社長、日本チェーンストア協会初代社会貢献委員長を歴任。その後、住友理工(株)に入社、CSR部長、アドバイザーとして、価値創造型CSRを推進。また、2013年中部圏の企業人の社会参加を目指し、NPO法人中部プロボノセンターを設立し共同代表理事を務める。中京大学大学院にて客員教授としてソーシャルビジネスを教える。</p> <p>2019年一般社団法人中部SDGs推進センター(現：一般社団法人中部サステナビリティ&ウェルビーイング推進センター)を設立、代表理事に就任しSDGsやウェルビーイングの概念の普及啓発、実践指導を行っている。</p>

2. 活動内容

- ・SDGs に関するフォーラム(セミナー)等の開催
- ・「中部圏SDGs フェスティバル」の開催 他

3. 会員

区分	概要
運営会員	広く運営に参画する団体・企業
正会員	活動に参加する団体・企業
特別会員	国・地方公共団体など

(*)東京海上日動火災保険株式会社は、運営会員として中部圏SDGs 広域プラットフォームに参画し、本イベントを連携して開催しております。